

「幼児期に育てたい力」の具体例 初生幼稚園 バージョン（1 学期）

1 健康な心と体

体づくり



「体のバランスをとる動き」「体を移動させる動き」など、多様な体の動きを経験することで、複数の動きを連続的に行うことができるようになります。

安全



横断歩道の渡り方、信号機の見方などを大人と一緒に行うことで、交通ルールが身に付くようになります。

清潔



着脱



食事



毎日の積み重ねで、身の回りの始末、食事のマナー、手洗いやうがい、歯磨きなどが身に付いていきます。また、自分たちの生活の場をきれいにすることを通して、気持ちよく生活ができることを知っていきます。

先生や友達の姿に刺激されて、自分もやってみようという気持ちになり、自分から主体的に遊んだり取り組んだりするようになっていきます。

2 自立心



遊びの中で、身近な先生や友達と言葉を交わす楽しさを感じるようになります。

6 言葉による伝え合い



3 協同性

遊びや友達との関わりの中で、「こうしたい」という共通のイメージを次第にもつようになります。



集団遊びを経験していく中で、ルールを守ると楽しく遊べるようになることができます。

4 道徳性・規範意識の芽生え



身近な人との関わりを通して、いろいろな人と関わることの喜びを感じるようになります。

5 社会生活との関わり

幼児期に育てたい力

I 自分のことを自分でする力

II 人と関わる力

III 身近なものや出来事と関わる力

7 思考力の芽生え



様々な性質の素材やものに出会い、好奇心や探求心が育っていきます。



様々な道具を使って遊びを進め、失敗しても繰り返し試してじっくり遊ぶことで、自分の考えをよりよいものにするようになります。

8 自然との関わり・生命尊重



動植物の変化や生長を楽しむことで、生命を大切にしようという気持ちが育まれていきます。



9 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚



収穫物を分けたり数えたりする中で、長短、多少、大小などの感覚が豊かになっていきます。

10 豊かな感性と表現



自分なりのイメージをもち、かいたりつくったり、なりきったりすることを乐しみます。表現することを通して、感性がより豊かなものになっていきます。